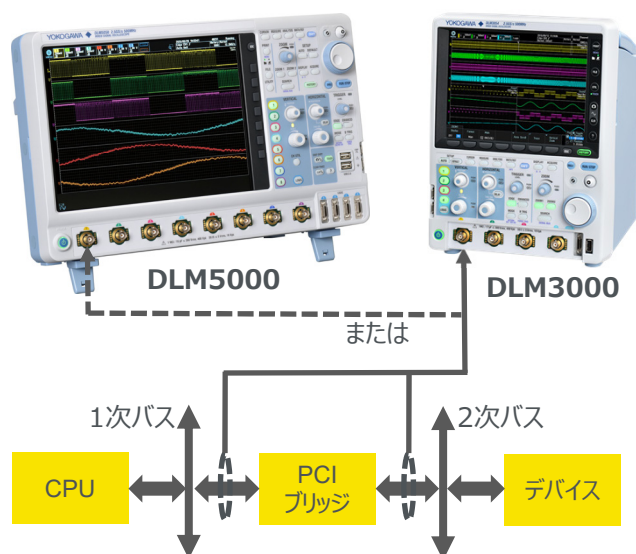


アプリケーションノート

PCIバス-ブリッジのデータ転送試験

ミックスドシグナルオシロスコープ DLM3000 / DLM5000



概要

電子機器には、CPUからデバイスを制御する際にPCIバスブリッジを使ったものがあります。機器の動作の評価では、このPCIバスブリッジの両端で信号のハンドシェイクを確認し、異常な待ち状態に陥っていないか、正常なプロトコルで動作しているかなどを確認します。

ポイント

- アナログ＆ロジック入力
全てのハンドシェイクラインの測定に加え、電源ラインなどのアナログ電圧を同時に測定できます。
- 確実に異常信号を捕捉
信号が十分に立ち上がらない・下がりきらない現象を捕捉するRuntトリガなど、豊富なトリガを搭載。
- 100,000個のヒストリ機能で遡って解析
トリガがかかった波形を自動で最大100,000個保存。後からさかのぼって表示できます。全画面を重ね描きして異常データを抜き出すことや、条件を設定して波形を検索することが可能です。抽出した波形データに対し、カーソル測定や演算などができます。

特長

■ アナログ＆ロジック混在多チャンネル測定

形名	最大チャンネル数
DLM3000	アナログ2（2chモデル） アナログ4または アナログ3＋ロジック8（4chモデル）
DLM5000	アナログ4＋ロジック32（4chモデル） アナログ8＋ロジック32（8chモデル） ※2台連結可能（近日発売）

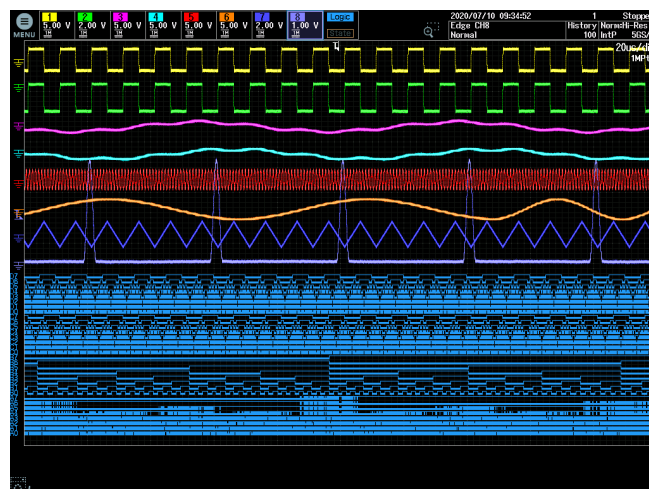
■ ロジックアナライザより手軽なロジック入力

- 1次/2次バスのハンドシェイク信号のモニターが可能
- ビットごとのスレシールドレベル設定、ノイズ除去設定
- スキュー調整機能

■ 2か所ズーム機能で、ズーム箇所を切り替えることなく異なる箇所を同時表示可能です。

■ 横長印字で波形を詳細表示

- 内蔵プリンタ、USBプリンタ、ネットワークプリンタが利用可能。時間軸を最大10倍にして連続横長印字が可能。
- ロングイメージで保存すれば、横長のイメージデータを出力できます。



DLM5000のロジック解析例